

“いま”を知る。“これから”を考える。

な
か
や
ま

議会だより

特集
2

消防団との意見交換会

特集
1

アンケート結果の報告

紙面を
リニューアル
しました



「米飯給食の無償化始まる」
⇒関連記事 P 24

みんなで支える地域の安全



中山町消防団×総務文教常任委員会

7月27日、中山町議会総務文教常任委員会と中山町消防団幹部11名による意見交換会が開催されました。これは約20年ぶりとなる貴重な機会です。消防団が抱える課題や今後の取り組みについて活発な議論が交わされました。

深刻化する団員不足の現状

中山町消防団では、40年前に約480名いた団員が、現在約230名まで減少しています。これは全国的な傾向で、昭和30年代に約200万人いた全国の消防団員が、現在74万人程度まで減っているのが現状です。

特に、住宅密集地区での団員不足は深刻で、通常の活動にも支障をきたす状況が見受けられるようになってきました。若い世代が消防団に入らない理由としては、家庭を優先する価値観の変化や、SNSでのネガティブな情報の影響などが挙げられました。

地域の安全を守るために組織再編も含めて検討が必要。機能別消防団員の検討も必要になってくるだろう。



秋葉和則 団長

災害時に一番頼りになるのは地元の消防団の皆さん。課題には、団員だけでなく町ぐるみで取り組んでいきたい。



鈴木徹雄 委員長

若者の消防団に対する考えを聞く機会が欲しい。それによってできることがわかるのではないかな。



浅倉慶彦 指導員

女性消防隊にも、なかなか新しい人の加入がない。女性の防災組織への参加促進や、子育て中の女性も参加しやすい環境づくりが必要。ボランティア登録制度などで対応できないかな。



大津光弘 副団長

今後の取り組み案として

〈若い世代の参加促進〉

- ・体験入団の機会創設
- ・SNSを活用した情報発信
- ・学校教育との連携強化
- ・消防行事をイベントに併せて開催

〈組織の再編と施設整備〉

- ・第1分団の施設更新計画（駐車場完備で活動拠点に適した場所選定）
- ・少人数でも操作できる新型ポンプ車の導入

〈活動環境の改善〉

- ・出勤時の車両保険導入検討
- ・活動服の更新
- ・暑さ対策としての装備の見直し など

今後に向けて

今回の意見交換会では、消防団が直面している課題と今後の方向性について、率直で建設的な議論が行われました。議会としても消防団の要望を活動に反映させ、地域の安全・安心を守るために連携を深めていくことを確認しました。

このような意見交換会を今後も継続的に開催し、住民の皆さまの声を議会活動に活かしてまいります。

浮き彫りになった最大の課題、それは「わからない」

アンケート結果の報告(速報版)

中山町議会では、議員のなり手不足の解消や、町民にわかりやすく開かれた議会運営、議会機能の強化、そして身近で信頼される議会を目指すために町民アンケートを実施しました。ご協力いただき、誠にありがとうございました。(対象700名、回答268名/回答率38.2%)



アンケート全回答の閲覧はこちらから▶

アンケートより一部抜粋

【なり手不足について】

議員として働いてみたいと思いますか？

- ・(条件が整えば) やってみたい 22名
- ・全く思わない 184名
- ・議員の仕事がわからないのでどちらともいえない 54名

会社員だと仕事を続けられないのではないかな。両立できるような仕組みがあれば良いと思う。議員についてよく知らないの、イメージが先行し、なりたい人が少ないのでは。(40代：女性)

【開かれた議会について】

本会議の録画配信を見たことはありますか？

- ・見たことがある 7名
- ・見たことがない 136名
- ・配信を知らなかった 122名

議員の録画配信を見てみたいが、配信はどこで見られるかわからない。(80代：女性)

周知されなければ、ただの自己満足にすぎない。(40代：女性)

【議会機能の強化について(複数回答)】

議会に特に力を入れてほしいことは何ですか？

- ・町民の声を議会に届ける仕組みづくり 118名
- ・子どもや若者の意見を反映する仕組みづくり 114名
- ・政策提案力の強化 93名

中山町を背負っていく若い人の新しい感覚を取り入れていく必要があるのでは。中学生、高校生も巻きこんだ議会など。(70代：女性)

【身近で信頼される議会について】

町民の意見が議会に反映されていると思いますか？

- ・十分反映されている 0名
- ・おおむね反映されている 71名
- ・あまり反映されていない 59名
- ・全く反映されていない 14名
- ・わからない 119名

広く町民の考えを(意見を)聴く機会が少ないのではないのでしょうか。(70代：男性)

何をしているのかまったくわからない。(70代：男性)

今後に向けて

今回のアンケートでは、全体的に「わからない」という回答が多く、町民の皆さまが「議会活動の見えにくさ」や「意見が届きにくいこと」などに課題を感じていることがわかりました。お寄せいただいた多くの貴重なご意見や要望は、執行部と速やかに情報共有を行い、町政への反映を図ります。

そして、議会ではアンケートをさらに詳細に分析し、課題抽出、対応策の検討・実行、対応状況の公表を行ってまいります。なり手不足解消への取り組みと同時に、情報発信の充実、町民参加機会の拡大、政策提案力の強化に努め、町民の皆さまと共に「開かれた、信頼される議会」を目指します。

9月定例会が開催されました

9月定例会が、9月4日から12日までの会期で開催されました。

議事内容は、令和6年度中山町一般会計・特別会計歳入歳出決算の認定、令和6年度中山町下水道事業会計決算の認定のほか、令和7年度の補正予算5件、人事案件2件、財産の取得についてなどで、すべて原案のとおり認定、可決、同意されました。（議案一覧はP8）

令和6年度決算審査等結果報告

令和6年度中山町一般会計、各特別会計および下水道事業会計について、町監査委員による決算審査が、7月23日、24日、25日、29日、31日の5日間で行われました。

審査結果は、全般的にはおおむね妥当な決算であると認められるが、一部に改善を要する事務等が確認されたことから、次のとおり指摘するので改善を図りたい。

監査委員から町当局への指摘事項(抜粋)

- 事務の引き継ぎにおいて、各事業の経過や課題、解決に向けた方向性を後任者に確実に引き継ぐこと。
- 予算の流用について、前年度と比較し、件数、金額ともに増えているため、予算の内容を精査するとともに適正な管理を行い、予算の流用を控えること。

- 基金の運用について、有効活用や存続、廃止を検討すること。
- 施設の老朽化への対応を計画的に進めること。また、各施設の設備や機器についても計画的に交換等の対応をすること。
- 旧柏倉家住宅について、将来の方向性を今一度検討すること。
- 町の課題に対し担当課だけでなく全職員が自分事として捉え、町の未来を見据えながら業務に当たることを期待したい。

中山町代表監査委員 村山 拓
中山町監査委員 斎藤 眞一

令和7年 中山町議会9月定例会日程表

期 日	会 議	備 考
9月4日(木)	本 会 議 (柏倉家住宅保存・利活用特別委員会)	一般質問 議第39号～40号 提案理由の説明 報告
9月5日(金) ～10日(水)	休 会 (全員協議会)	令和6年度決算に係る説明等、質疑（各課ごと）
9月11日(木)	休 会	(議案調査)
9月12日(金)	本 会 議 (全員協議会) (議会活性化特別委員会)	議第39号～40号 質疑、討論、採決 議第41号～48号 各件毎提案理由の説明、 質疑、討論、採決

令和6年度決算を認定！

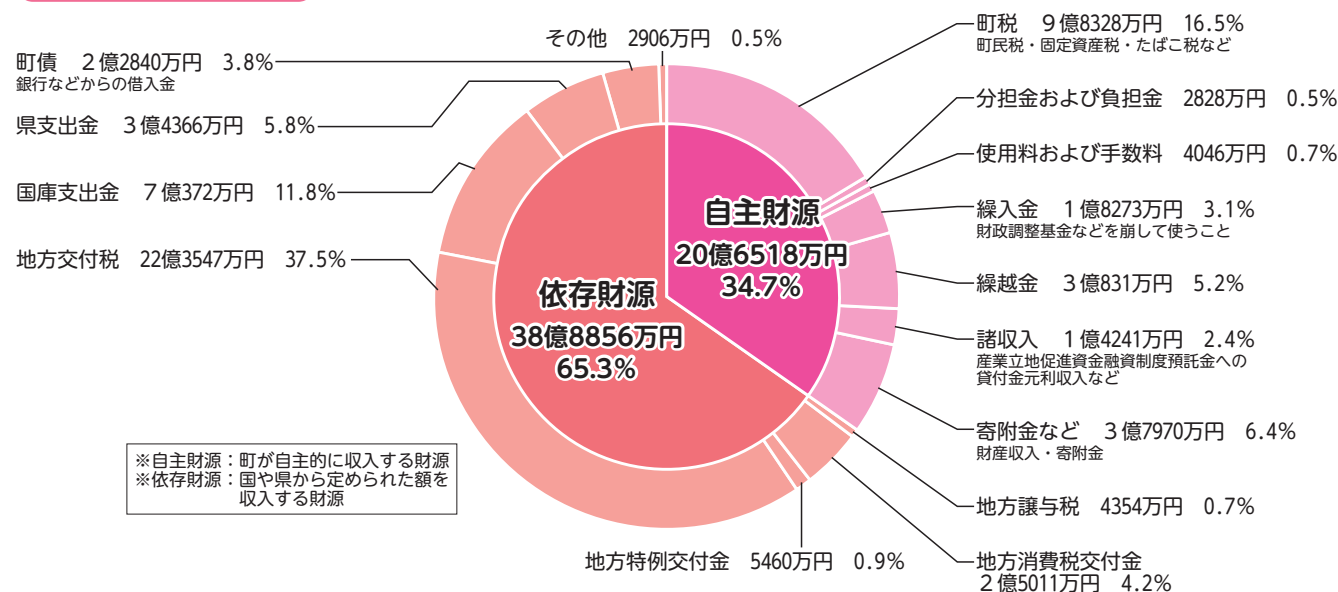
今回の決算については、全会計支出額の合計と基金残高、借金残高も掲載するようにしています。

一般会計歳出 56億4697万円 全会計支出 合計 89億6544万円

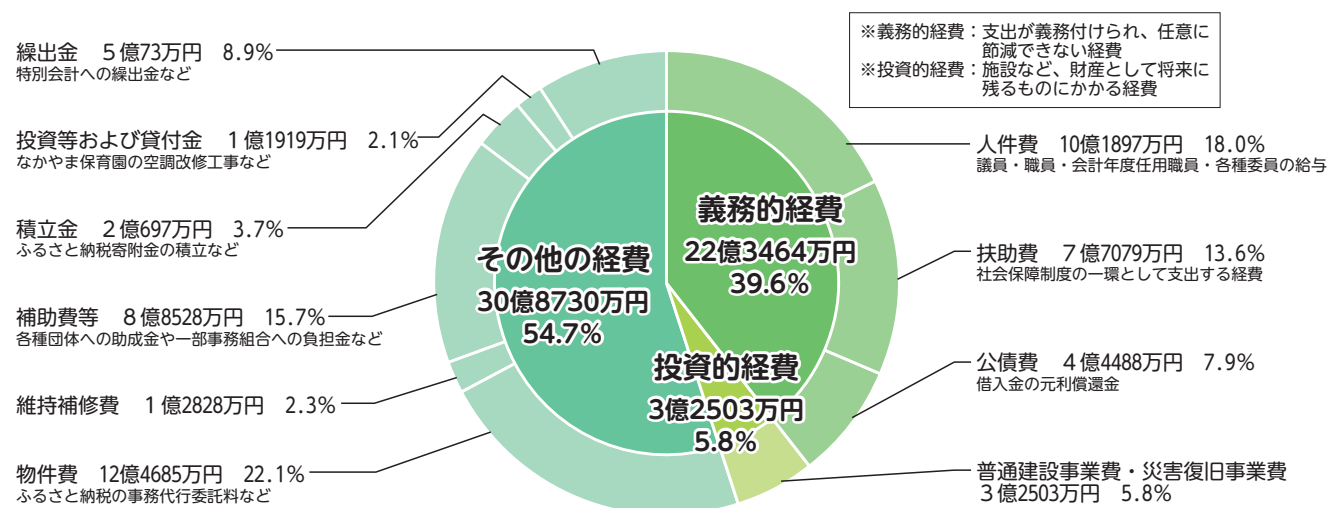
基金残高(貯めているお金) 27億4028万円(前年度比 8356万円増) 借金残高 69億3640万円(前年度比 3億2009万円減)

	収 入 (歳入)	支 出 (歳出)
一 般 会 計	59億5374万円	56億4697万円
特 別 会 計 3 会 計 合 計	26億8128万円	25億8237万円
国民健康保険特別会計	11億4306万円	11億1265万円
後期高齢者医療特別会計	1億9369万円	1億9186万円
介護保険特別会計	13億4453万円	12億7786万円
下水道事業会計	収益的収支 4億 701万円 資本的収支 3億 722万円	3億9048万円 3億4562万円
総 計	93億4925万円	89億6544万円

一般会計歳入 総額 59億5374万円 (前年度比9.2%増)



一般会計歳出 総額 56億4697万円 (前年度比9.8%増)



※グラフの金額は万円単位で表示するため、単位未満を四捨五入しています。また、%は小数点以下第2位を四捨五入しています。そのため、合計と内訳の計が一致しない、または100%とならない場合があります。

令和6年度 決算質疑

9月定例会の会期中、4日間にわたり全員協議会を開き、令和6年度決算の審査を行いました。また、成果説明書をもとに、各課、事業ごとの実績、成果、課題などの報告を受けました。活発な質疑のあと、本会議において一般会計、各特別会計および下水道事業会計の決算を認定しました。

主な質疑内容は次のとおりです。一部を抜粋しています。

予算流用の内容は

Q 監査委員の意見書にあった予算の流用の中身は。

A 金額の大きかった3件の内訳は、ふるさと納税の積立金、除雪関係費用、除雪関係のシステム費用に係るもの。間に合う場合は補正予算として対応していきたい。

ふるさと納税、さらなる企画が必要では

Q 町内の畜産農家の肉や、芋煮会等の体験型返礼品を出すなど、もっと企画して返礼品を増やしてはどうか。

A 新たな返礼品を扱うことについては、事業者側の負担もあるため、他課と連携しながら考えていきたい。

町の指針をもって連携すべき

Q 連携中枢都市圏構想の今後についてどう考えているのか。

A 現在の連携事業の中には、町の財政にプラスになるような事業が少ない。今後も、連携できる事業がないかすべての課で見直したい。

羽前長崎駅の掲示物等の管理徹底を

Q 羽前長崎駅の連絡通路に掲示されているポスターについて、期日が過ぎたものがそのままであり、ガムテープの跡も目立っている。また、西口のイベント情報の看板には何もない。どのように管理しているのか。

A 至急、現地を確認して対応したい。



終了したイベントのポスターがそのまま

Q 東口の駐輪場の利用実績は。また、老朽化しているが抜本的な解消策はあるのか。

A 利用実績は把握していないが、利用者がだいぶ減っていると認識はしている。解消策などは現時点では特にない。



利用が減っている駐輪場

LINEでの情報発信の充実を

Q LINEで町内の火事など、消防情報の発信はできないのか。

A 火災の場合は山形市消防本部からの情報を担当と消防団で共有している。現在は町民に広くお知らせしていないが、地区や大字までの情報開示について検討したい。

役場職員の研修における課題は

Q 最近職員の対応について町民からの相談が増えている。人材育成事業の職員研修における課題は。

A 毎年、職員研修計画を作成し、役職別や能力開発、接遇などの研修を受講している。常に町民の立場に立つ

もっと中山町に近い消防施設の配置を

Q 山形市で消防施設の再配置計画はあるのか。

A 山形市で計画は立てていない。中山町の課題はその都度伝えていく。県全体で考えていく問題でもあると考えている。

証明書のコンビニ交付の周知は

Q 証明書のコンビニ交付についての広報体制は。

A 役場窓口にもコンビニで証明書の交付が

数を超えている。町では狩猟免許の取得に対して補助を行い、また、免許取得者には実施隊への参加を呼びかけている。

Q 有害鳥獣の被害が増えてきているが、実施隊以外での対策も必要では。

A 耕作放棄地の増加が鳥獣の隠れ家になる可能性がある。有効な方策を研究していく。



樹園地をうろつくイノシシ

地産地消率低下の要因は

Q 地産地消率が目標値の半以下となつて

いるが、低下している要因は。

A 地産地消率は、学校給食における町内産農産物の使用率となっているが、野菜農家の離農や野菜の収穫量が減っていることが要因。また、規格や納入時間の制限により、対応できる農家が少ないこともある。町からのアプローチを続けたい。

空き家対策のその後は

Q 補助金を活用した空き家の解体が10件とあるが、その後の状況は。

A すべてを把握はしていないが、すでに新築住宅が建っているところや現在建設中のところもあり、一定の効果が出ていると考えている。



ダンクシュートにも対応するため軽量化も難しい

移動式バスケットゴールの見直しを

Q 総合体育館の移動式バスケットゴールは、以前からフロアが傷むなどの課題がある。定置型の検討など見直しをしては。

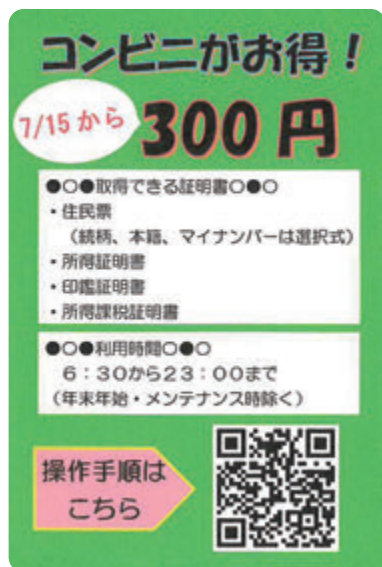
A 調査は実施しており、体育館の構造上屋根からの吊り下げは費用が高額となる結果であった。利用者には丁寧に使ってもらうなどご協力をいただき、今後も移動式のものを使用していく。

ごみ処理施設における火災の対策は

Q ごみ処理施設での火災が増えているようだが、特にリチウムイオン電池が原因の火災について町独自で回収するなどの方法も考えられるがどうか。

A 令和6年度の立谷川リサイクルセンターにおける発火・発煙のうち、電池が原因とされるものは280件ほどであった。広域環境事務組合でも深刻に捉

できることを知らせるチラシを設置してお



チラシでは操作手順も案内しコンビニ交付を周知

り、引き続き周知したい。

国保事業の今後の対応策は

Q 高齢化により、国民健康保険から後期高齢者医療保険への移行が増え、一般財源の支出が増えていくと予想されるが、対策は。

A 人口割合から言ってもそのとおりだが、歳出も減っていくと予想されるので、実態を見据えながら対応したい。

鳥獣被害対策の今後の方向性は

Q 鳥獣被害対策実施隊の活動日数と捕獲頭数が、令和5年度に比べ少なくなっている。今後の方向性は。

A 捕獲頭数は隔年で多い少ないを繰り返しており、令和7年度はすでに昨年度の捕獲頭

令和7年度一般会計補正予算(第3号)について

9月定例会で、第3回目の予算の見直しを行いました。その結果、歳入歳出予算にそれぞれ1億7216万3000円を増額し、総額で62億1158万4000円とするものです。
見直しの主な内容は次のとおりです。

町内で開業する方を応援

増額 600万円

開業支援事業補助金については、すでに当初予算で見込んでいた4件分の補助金交付が決定しており、その後も開業の相談を受けていることから、年内に開業が見込まれる3件を含む4件分の補助金を増額するものです。



開業支援で新しい店が続々とオープン

町民による「まちづくり企画」が増加

増額 50万円

町民企画事業補助金（通称：「おらだのまち」補助金）について、当初の想定を上回る申請相談があり、トライ枠5団体分を増額するものです。町民が主体となって自主的に公益活動を行う団体が年々増えています。



補助金を活用した活動で整備された羽前長崎駅東口▶

後世に伝える建物を修繕

増額 121万8000円

岡村観音堂の千手観音像、不動明王像、毘沙門天像の三尊像が、昨年4月に山形県指定有形文化財に指定されました。調査の段階で建物にシロアリ被害が確認され、早急な対策が必要となりました。建物は町指定文化財となっており、修理に係る費用のうち2分の1を町指定文化財修理費補助金として交付するため増額するものです。



町指定文化財 岡村観音堂

農業者の機械等導入を支援 増額 309万6000円

町内の認定農業者等が農業用機械を導入する費用について、町では一部を補助していますが、今回、当初予算を超える申請があったため増額するものです。



議会の録画配信をしています

パソコンやスマートフォンからご覧いただけます。



中山町議会 録画配信 検索

過去の議会だよりをご覧ください



町公式HPから



SideBooksアプリから

その議案に私は賛成、私は反対

9月定例会 採決状況

○賛成 ●反対 △欠席 ㊟退席

議案番号	議案名と主な内容	1 佐東 幸治	2 須貝 勝司	3 田宮 昌幸	4 多田 慎二	5 斎藤 眞一	6 鈴木 徹雄	7 渡辺 博文	8 村山 隆	9 渡邊 史	議長 鎌上 徹
議第39号	令和6年度中山町一般会計歳入歳出決算の認定について 令和6年度中山町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について 令和6年度中山町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について 令和6年度中山町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について (⇒詳細は5ページ参照)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*
40号	令和6年度中山町下水道事業会計決算の認定について (⇒詳細は5ページ参照)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*
41号	令和7年度中山町一般会計補正予算(第3号)について 歳入歳出予算それぞれ1億7216万3000円増額し、総額を62億1158万4000円とする	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*
42号	令和7年度中山町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について 歳入歳出予算それぞれ3342万4000円増額し、総額を11億7645万円とする	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*
43号	令和7年度中山町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について 歳入歳出予算それぞれ490万9000円増額し、総額を2億691万4000円とする	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*
44号	令和7年度中山町介護保険特別会計補正予算(第1号)について 歳入歳出予算それぞれ6244万9000円増額し、総額を14億3498万3000円とする	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*
45号	令和7年度中山町下水道事業会計補正予算(第1号) 職員の人件費や企業債の利息の変更、旧土橋処理場の固定資産の売却に伴い補正するため	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*
46号	中山町教育委員会委員の任命について 教育委員会委員の任期満了に伴い、新しく候補者を任命するにあたり議会の同意を求めるため	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*
47号	中山町固定資産評価審査委員会委員の選任について 固定資産評価審査委員会委員の任期満了に伴い、引き続きその候補者を選任するにあたり議会の同意を求めるため	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*
48号	財産の取得について 取得する財産：小・中学校における学習者用タブレット端末等一式(811台分)700万円を超える財産の取得に該当するため、議会の議決を必要とするもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*

*注：議長は採決に加わりません。

人事案件

中山町教育委員会委員の任命に同意

とうかいりん まさ ちか
東海林 大陸氏
(達磨寺 新任)



任期：令和7年10月1日～
令和11年9月30日

中山町固定資産評価審査委員会委員の選任に同意

すがい こう じ
須貝 幸司氏
(岡 再任)



任期：令和7年10月1日～
令和10年9月30日

さとう こうじ
佐東 幸治 議員

町の教育政策は、子どもたちに 伝わっているのか

町長 広報紙やガイドブック等で継続してお知らせしていく

町長 保護者の視点から考えると、昔と比べて女性の社会進出に伴う共働き世帯が増加しており、子育てと仕事の両立における家庭内での負担が増加し、子どもにも影響を与えて

いる。一方で、給食費の無償化や高校3年生相当までの医療費無料化など、子育て支援制度がより充実している部分もある。どちらにしても、ここ数十年の間に経済状況等が大きく変化する中、子どもたちを取り巻く環境も変化していると思える。

町長 少子化の進展は全国的な課題であり、その要因としては、「未婚化や晩婚化の進展」、「女性の社会進出・価値観の多様化」などとされ、これらの要因は当町にも当てはまると考えている。町では、人口減少・少子化の抑制にも配慮しながら、

町長 少子化が進んでいる理由を、町はどのように分析し、受け止めているのか。また、どのような対応策を考えているのか。

町長 中山町総合発展計画の各基本施策の主要事業等に位置づけて推進を図っている。推進にあたっては、その目的や対象について、町公式ホームページや町広報紙への掲載、子育てガイドブックの配布等により、町民へお知らせしている。

町長 少子化対策と子育て対策、子どもの教育政策と保護者への支援策など、各政策の目的や対象は明確に整理されているのか。また、町民に対して政策の意図や効果が正しく伝わっているのか、町としてどのように認識しているのか。

教育長 条例等の整備、消防署や保健所への届出など、解決すべきことがあるが、図書館創設の際のワークシヨップで話し合われた「本に出合うだけではない

問 ほんわ館の入って右側に「カフェ」などを設置できないのか。

私の思い 町民の居場所づくりとして、ほんわ館へカフェの設置を進めてほしい。

町 前向きに調査する 気軽な町民の居場所という方向性に立ち返り、町民の居場所となる施設となるよう検討を考えている。



飲食・談話コーナーをより積極的に活用してみては

一般質問

一般質問とは、議員が町の事務・事業の執行状況や将来に対する考え方などの報告や説明を町長などに求め、町が町民のために適切な町政運営を進めているかを議員が問いただすものです。

質問方法は、効率的な議会運営を目的に、質問する議員があらかじめ議長に質問の趣旨などを知らせる「通告制」を採用し、議員はその内容に沿って質問します。中山町議会では、質問時間は答弁と合わせて40分以内としています。

6人の議員が一般質問

9月定例会では、6人の議員が一般質問を行い、将来の町政について活発な議論を展開しました。

なお、今定例会では、芋煮会発祥の地をPRするため、定例会初日に出席者が、オレンジ色のPRポロシャツで本会議と一般質問に臨みました。



質問者（発言順）

佐東 幸治 議員（11ページ）

- 町の教育政策は、子どもたちに伝わっているのか
- ほんわ館へ町民の集いの場（カフェなど）を設置できないのか

須貝 勝司 議員（12ページ）

- 文化財への財政支援に対する町の考えは
- 自治公民館改修への補助率見直しは

夢田 慎二 議員（13ページ）

- 防災課の設置の可能性は
- 業務効率化のためのデジタル技術の活用は

田宮 昌幸 議員（14ページ）

- 安心・安全なスポーツ環境を

渡邊 史 議員（15ページ）

- 支援の必要な子どもの放課後の居場所は

村山 隆 議員（16ページ）

- 町の成長戦略、カギは

ここが聞きたい！

町政を問う



ただしんじ 多田 慎二 議員

防災課の設置の可能性は

町長 総合的に判断していく

町長 専任の防災課を設置することは、独立部門として責任と役割が明確化されることや計画立案・予算要求を自ら実施できることなど、防災業務の組織体制の強化につながることで期待できる。一方で、職員の防災知識・専門性向上が直ちに実現するものではないこと、関係他課との連携の重要性が変わることもないと考えている。このようなことを踏まえ、防災対応体制強化の一つの手段として、総合的に判断していく。

町長 DX分野に地域活性化起業人が着任した。行政課題解決や業務改善の分野で、どのような役割を期待しているのか。

町長 町が抱える地域社会と行政内部の両面の課題に対して、民間企業等で培われた知見

町長 近年のデジタル技術の進歩は目まぐるしく、特にAーの分野等においては、日進月歩で技術革新が進んでいる。そのような情勢の中、当町においても新たなデジタル技術を



町民アンケートの分析に協力する地域活性化起業人の安達仁政氏

業務効率化のための

デジタル技術の活用は

町 デジタル技術を使った業務効率化は必須である

と技術を活かし、その課題解決と持続可能な地域づくりを支援する役割を期待している。

町長 行政業務の効率化について職員自ら業務フローを見直し、改善を進められる仕組みづくりが重要であると考えている。ノーコードツールや自動化のような新しい手法の活用について、町ではどのように考えているのか。

私の思い 業務改善を進めていくためには、誰かが頑張るのではなく全庁を挙げて取り組まなければなかなか進まないの、しっかりと取り組んでほしい。

町長 安全・安心のまちづくりを目指す当町

町長 防災分野の専門性を高めるため、「地域防災マネージャー制度」を活用し、外部の専門人材を危機管理監として登用することについてはどうか。

において、職員育成と外部人材活用の両方に取り組むことが必要と認識していることから、外部人材を登用するために有効な制度について、情報収集を進めていく。

使った業務効率化は必須であると考えている。ノーコードツールも事務効率化の有効な手段の一つと捉えており、利活用していく可能性はあるが、効果的に活用できる業務を見定めることが必要と考えている。

文化財への財政支援に対する町の考えは

教育長 文化的価値を維持・保存するための支援



すがいかつし 須貝 勝司 議員

町長 文化財への補助あり方について、宗教活動との区別をどのように判断、整理しているのか。

教育長 文化財への補助事業については、宗教活動に対するものではなく、文化財指定を受けたものに対して、文化財的価値を維持・保存する目的のために補助を行っている。

町長 今後、文化財保護と政教分離の原則とのバランスをどのように図っていくのか。

※政教分離の原則…憲法第20条、第89条に規定され、国家と宗教との関係を制度的に分離し、信教の自由を保障するもの。地方公共団体にも等しく適用され、地方行政でも慎重な対応が求められている。

教育長 特定の宗教活動に対してではなく、文化財の保存、活用による文化の発展向上を目的とした公益的な考えから補助を行う方針である。

町長 文化財保護への財源について、これから人口減少が進み、一般財源からの支出がますます厳しくなってくる。他の自治体では「文化財登録制度」を活用し、国から交付される特別交付税を増やし、文化財への支援の財源としているところがあるようだが、当町で取り組む考えはあるのか。

総合政策課長 実施している自治体等からの情報を得ながら、調査していきたい。

町長 町内の実例を一つ挙げると、達磨寺・向新田地区にある自治公民館は老朽化により修繕を重ねているが、屋根の塗装や外壁の修繕には1000万円以上かかる見積もりが出ている。今の補助率では地区の負担が大きく、

自治公民館改修への

補助率見直しは

町 前向きに検討したい

町長 自治公民館の改修等への補助率について、見直しが必要な時期にきていると思うが、町としての考えはあるのか。

いつ修繕が実施できるかわからない。災害時に避難所として活用するような考えからも、補助率の見直しを検討できないのか。

副町長 自治公民館に



地区の防災訓練で講座が開催された自治公民館（達磨寺・向新田地区）一刻も早い修繕を望んでいる

私の思い 国・県の事業に対し、常にアンテナを張って早めに情報収集し、財源を確保してほしい。

については、一時的な避難場所でもあり、また、地区の方々の拠り所になる場所でもあるため、補助率の見直しについては前向きに検討していきたい。

わたなべ まみ
渡邊 史 議員

支援の必要な子どもの 放課後の居場所は

町長 まずは相談支援事業所を誘致したい

※放課後等デイサービスとは、障がい児が放課後や休日に通う療育・支援施設のこと。

※相談支援事業所とは、障がい者・家族の生活相談や福祉サービス調整を行う事業所のこと。



町内唯一の放課後等デイサービス事業所

町長 放課後等デイサービスの利用者は令和7年8月現在で33名である。町内事業所1か所のほか、山形市などの近隣市町の複数事業所を利用している。課題は町内に相談支援事業所がないため、障がい福祉サービスが適切に利用されていないケースがあることである。

問 当町での放課後等デイサービスの設置状況や利用実態はどうか。また、近隣町村と比較して課題はあるのか。

問 相談支援事業所ではなく、実際に子どもたちが通えるデイサービスやそこに通える方法が必要なのではないか。当事者である子どもや保護者には調査を行ったのか。

健康福祉課長 改めての調査は行っていない。

問 町外の施設に頼らざるを得ない現状への対応はどうか。

町長 まずは相談支援事業所の誘致に取り組んでいく。移動支援に

問 この夏休み、小学校の特別支援教育支援員を放課後児童クラブに配置したということだが、いつから配置になったのか。

町長 課題は支援員の不足や専門的知識のある職員の確保、大人数で過ごすことによる児童相互の影響、静かな場所の確保など、環境面での整備が挙げられる。

問 支援が必要な子どもたちを放課後児童クラブで受け入れる際の課題は何か。

については、現在、特別支援学校への送迎を実施しているが、放課後等デイサービスへの送迎など新たなニーズも生まれている。予算や事業者確保など近隣情報や研究し、移動支援のあり方を検討していく。

問 支援の必要な子どもを受け入れにあたって、通常より多く職員を配置するような加配対応はしていないのか。

健康福祉課長 加配ができる予算の確保および人員の募集を行っているが、なかなか応募・採用につながらない現状がある。人員確保に努めたい。

問 慢性的な人員不足をどう認識し、処遇改善策はとられているのか。

町長 子どもの数は減少しているが、共働き

私の思い
支援が必要な子どもが放課後安心して過ごせる環境整備には、誰一人取り残さない、温かいまなざしと対応が必須と考える。一部の利用者に人員不足のしわ寄せが来ないように、国の補助制度を活用し、ぜひ放課後児童クラブへの専門職員の加配と実践的な研修の機会を望む。

世帯の増加により利用者は増加しており、慢性的な人員不足と認識している。現在、ハローワークでの求人や関係者への声掛けを行っており、少しずつ応募がある。処遇改善については、国や県の子どもの育て交付金の中の放課後児童支援員等処遇改善事業補助金を活用し、賃金の改善を行っている。

たみや まさゆき
田宮 昌幸 議員

安心・安全なスポーツ環境を

町長 公共施設再配置計画策定後に順次検討する

問 観測史上最高の気温更新、命に係わる危険な暑さなどの言葉を毎日のように耳にする。実際、熱中症の危険を示す暑さ指数の厳重警戒が、7月は28日間とほぼ毎日となった。学校などの熱中症事故の予防措置強化や環境整備等の改善など、実行計画はあるのか。

町長 実行計画はないが、国の手引きに沿った熱中症対策を行い、教職員間での情報共有、児童・生徒への指導や保護者への周知を行っている。例えば、暑さ指数に応じた下校時刻の変更、遠距離通学地区は町営バスを利用するなど、実情に応じて実施している。

問 屋外の活動について、各小中学校には日除けとなるものがない。町民グラウンドのベン

チは、半分以上日差しが当たる状態で、改善が必要だと思われる。また、小中学校には冷風機がない。改善の予定はあるのか。

教育課長 現在第2期中山町スポーツ推進計画作成のために協議を行っている中で、利用団体へのアンケートを実施しており、結果を踏まえて必要なものを話し合っていく。また、小学校への冷風機設置は今のところ検討していない。

問 スポーツ施設の積極的な活用・大会誘致を行うには、設備の充実が必要だと思われるが、整備計画はあるのか。

町長 総合体育館は、「公共施設個別施設計画」において長寿命化改修工事を実施するた

め、令和8年度に実施設計を作成予定。そのほかの施設は「公共施設再配置計画」策定後、順次整備計画を進めていく。

問 当町で開催されるスポーツ少年団の大会支援や町民挙げての応援体制の構築についての考えはどうか。

町長 当町では大会運営等の費用は、「わがまちのスポーツ振興事業補助金」として大会運営実行委員会へ補助を行っている。今後も各種大会の支援について協議の上、対応していく。

問 大会を誘致するためには、町外のチームも安心して試合ができる環境づくりが必要である。特に熱中症対策では、チームでの備品整備にばらつきがあ

り、テントなどの貸出し等による安全確保が必要と考えるがどうか。

教育課長 テント、給水用ホース、室内送風機などの備品があるので、要望があれば対応したい。

問 町民挙げての応援体制を構築するには、町民に関心を持ってもらうことが必要。町広報紙にスポーツ少年団の活動を積極的に掲載することや、町内で開催される大会は、町が後援として支援することが考えられるがどうか。

町長 町広報紙で取り上げるべき内容であれば記事にしていきたい。

問 最後に、ミニバスケのチームが東北大会に出場したことを、だいぶあとに知った。ま



子どもたちの頑張りを応援しよう

私の思い
町民挙げて、文化活動も含めた子どもたちの活動に関心を持ち、応援する体制づくりを進めてほしい。私も応援していきたい。

た、今年の山形県こども絵画展(こども県展)に、幼稚園の園児7名、豊田小学校から3名、中山中学校からも3名入選したと聞いている。(答弁不要)

選挙から2年 議会体制が変わります

10月1日、中山町議会臨時会が開かれました。

中山町議会では、任期4年を前期2年、後期2年に分け、各常任委員会委員の改選などを行っています。今回は、慣例により副議長が辞職し、それに伴う副議長選挙が行われました。その結果、新しく村山隆議員が副議長に当選しました。(右表参照)

また、常任委員・議会運営委員の選任などが行われ、以下のとおり決定しました。

副議長選挙の結果

当選	村山 隆	5票
	渡辺 博文	3票
	佐東 幸治	1票
	(無効投票)	1票

議長・副議長紹介



議長

かまかみ とおる
鎌上 徹
(64歳・4期目)



副議長(新任)

むらやま たかし
村山 隆
(65歳・3期目)

常任委員会・議会運営委員会構成

議長の指名推選により、下記のとおり決定しました。任期は2年で正副委員長は互選で決定されました。

総務文教常任委員会

委員長 田宮昌幸 副委員長 渡辺博文
委員 村山 隆 須貝勝司 斎藤眞一

議会広報常任委員会

委員長 須田慎二 副委員長 渡辺 史
委員 村山 隆 田宮昌幸 佐東幸治

厚生産業常任委員会

委員長 鈴木徹雄 副委員長 須田慎二
委員 佐東幸治 渡辺 史 鎌上 徹

議会運営委員会

委員長 須貝勝司 副委員長 渡辺 史
委員 田宮昌幸 鈴木徹雄

各種審議会等の委員

本会議後に開催された全員協議会において、中山町等から依頼があった各種審議会等の委員について、以下のとおり決定しました。(変更者は赤下線)

■中山町広報委員会委員

村山 隆

■中山町民生委員推薦会委員

鈴木 徹雄

■中山町国民健康保険運営協議会委員

鈴木 徹雄

■中山町介護保険運営協議会委員

渡辺 博文

■中山町都市計画審議会委員

田宮 昌幸 須田 慎二 渡辺 史

■中山町土地開発公社理事

須貝 勝司 渡辺 博文 佐東 幸治

■中山町空き家対策会議委員

田宮 昌幸 佐東 幸治

■社会福祉法人中山町社会福祉協議会理事

鈴木 徹雄

町の成長戦略、カギは

町長 自信を持ってまちを誇れる人づくり



むらやま たかし
村山 隆 議員

問 少子高齢化・人口減少と町の経済基盤が縮小するなか、自然災害の増加などで町を取り巻く環境は大きく変化している。そのなかで暮らしやすさは、物価高騰にあえぎながら経済的に困窮している人も少なくない。税や社会制度のあり方は国の施策を待たなければならぬが、町としていかに町民の所得向上と地域の経済成長を図っていくかは、町の喫緊の課題である。そこで各分野における成長戦略について伺う。

町長 農業については、2020年の統計によれば、町内の農業者は451名で、その80%以上が60歳以上の高齢者となっている。そのなかで認定新規就農者は7名で、今年度も新たな認定者が出ています。こうした新規就農者や後継者を包括的に支援する体制を整える組織づくりに取り組んでいる。また、地域における協議により農地集積が進み、経営規模の拡大が図られることに期待する。団地化や法人化、特産品の開発など各方面でJAなど関係機関と協調して支援していく。

問 私の中の疑問は、現在の状況の紹介ではなく、その先の「成長戦略」についてである。現実として限界や力があるとしたら、それを町として、どう突破するかである。たとえば住宅地、市街化区域の見直しについてはどうなのか。

町長 大変難しい問題である。中山町だけではなく、山形県、村山地域という枠組みのなかで考える問題であり、簡単ではない。また住宅地だけの問題ではなく、中山町の全体的な進むべき方向性、農業も商工業もインフラの整備もすべて含めて考えていくべきである。考える。

町長 町の魅力を感じさせる事業を実施しながら、町に自信を持ち、町を誇れるような人、やはり人づくりだと思ふ。

私の思い 私も人づくりという考えには賛成である。しかし、その前提として経済的に自立できる環境が必要。手取りを増やす社会をつくりましょう。



町の文化を誇れる人づくり
(10月2日 芋煮会の日 豊田小学校にて)

令和8年度に向け 中山町重要事業要望

国土交通省と山形県に対し、佐藤町長とともに要望書を提出

令和8年度の予算編成に向けて、佐藤町長、鎌上議長、佐東副議長が、7月4日に東北地方整備局と山形河川国道事務所に、また、7月11日に山形県知事および村山総合支庁長に、要望書を提出しました。要望事項は次のとおりです。

【東北地方整備局・山形河川国道事務所】

- 公共事業予算・防災減災対策の充実について
- 最上川流域の総合的な治水対策の推進について
- 国道112号「山形中山道路」および「山形南道路」の整備促進について

【山形県知事・村山総合支庁】

- 一級河川石子沢川の減災対策の推進について

【村山総合支庁】

- 山形県医療給付制度の充実について
- 地域生活支援事業費等補助金について
- 国道458号・国道112号の整備について
- 都市計画道路天童中山線の道路整備事業化について
- 一級河川不動沢川の減災対策の推進について
- 新たな「土砂災害が発生するおそれのある箇所」に係る基礎調査の早期実施について
- 歩道除雪体制の強化について



東北地方整備局へ治水対策などを要望

町の財政を考えながら、国・県に対しインフラ整備や災害対策など、「安心して子育てができる環境づくり」に関する要望は重要であり、今後も活動を続けていきます。

新たな形となる、複合的な庁舎建設

村山地方町村議会議長会 正副議長視察研修報告

7月15日～17日、村山地方の町村議会正副議長計14名が参加し、北海道網走市^{あばしりし}で医療関連事業について、小清水町^{こしみずちょう}では庁舎建設について行政視察を行いました。内容は次のとおりです。

●研修内容

【網走市の取り組み】

広域分散・多雪寒冷といった地域特性から、地域間の医療資源に格差がありました。また、人口減少や高齢者の増加により通院困難者の増加が見込まれ、地域において高度で専門的な医療を受ける機会を増やすため、医療MaaS（オンライン診療）とともに、その実現を図るため、医療車両の導入を行っていました。

【小清水町の取り組み】

防災拠点型複合庁舎を建設しており、行政としての業務を行う「庁舎ゾーン」と、町民が気軽に足を運び、さまざまなコミュニティが生まれる場所となる「にぎわいゾーン」（コインランドリー、カフェ、フィットネスクラブなど）を併設し、町が行う検診の会場や、災害発生時には防災の拠点と一時的な避難所となる施設として活用されていました。

医療MaaSは、今後を見据えた医療体制として、当町も参考にしたいと思います。また、これらの庁舎の形を見据え、町民・町職員が気軽に利用できる施設を視察し、当町でも今後、町民の方々の意見を伺いながら進めていく必要性を感じました。

議会ダイアリー（議会4か月の動き）

※【 】内は参加者 ※議会全体の主な動きを抜粋して掲載しています。

●7月

4日 国土交通省への要望会【正副議長】
⇒関連記事 P 19

7日 J R 左沢線対策協議会総会【議長】

8日 議会ハラスメント対策研修会【全議員】
⇒関連記事 P 22

議員懇談会【全議員】

11日 県への要望会【正副議長】
⇒関連記事 P 19

15日 山形県町村議会広報研修会【委員】
⇒関連記事 P 23

15日～17日 村山地方町村議会議長会正副議長視察研修【正副議長】
⇒関連記事 P 19

24日 村山地方町村会・議長会合同会議【議長】

27日 消防団との意見交換会（総務文教常任委員会）【委員】
⇒関連記事 P 3

28日 最上川上流村山地区改修期成同盟会総会【議長】

知事と町村議会議長との意見交換会【議長】

29日 山形広域環境事務組合議会7月定例会【派遣議員】
⇒関連記事 P 23

30日 山形県町村議会意見交換会【議員6名】

●8月

1日 中山町戦没者追悼式【全議員】

4日～5日 総務文教・厚生産業常任委員会合同研修
⇒関連記事 P 20

6日 タブレット研修会【全議員】
⇒関連記事 P 22

15日 二十歳を祝う会【全議員】

18日 岩谷十八夜観音例祭【議長】

20日 全員協議会【全議員】
総務文教常任委員会【委員】
⇒関連記事 P 21

厚生産業常任委員会【委員】
⇒関連記事 P 21

21日 山形県、岩手県、秋田県合同町村議会議長等中央研修会【議長】

22日 県関係国会議員との懇談会【議長】

25日 議会運営委員会【委員、正副議長】

26日 総務文教常任委員会（お達磨の桜樹勢回復事業）【委員】
⇒関連記事 P 21

28日 全国町村議会広報研修会（東京都）【委員】
⇒関連記事 P 23

8月中 議会広報常任委員会（計3回）【委員】

●9月

1日 県奥羽・羽越新幹線整備実現同盟令和7年度促進大会【議長】

4日～12日 町議会9月定例会【全議員】
⇒関連記事 P 4～16

4日 柏倉家住宅保存・利活用特別委員会【委員、議長】
⇒関連記事 P 20

7日 安全・安心まちづくり町民大会【全議員】

12日 議会活性化特別委員会【委員、議長】
⇒関連記事 P 22

17日 国土交通省への要望会【正副議長】

25日 山形県健康福祉祭ときめきねりんピック2025 グラウンド・ゴルフ大会【議長】

9月中 議会広報常任委員会（計2回）【委員】

●10月（一部）

1日 町議会10月臨時会【全議員】
⇒関連記事 P 17

2日 町表彰式【全議員】

2日～3日 最上・荘内・村山地方町村議会議長会合同研修会【議長】

9日～10日 置賜・村山地方町村議会議長会合同会議【議長】

11日 手をつなぐ育成会東北ブロック大会・本人大会【議長】

21日 県及び市町村長・議長会議【議長】

10月中 議会広報常任委員会（計2回）【委員】

次回の定例会は **12月3日(水)～5日(金)** の予定です。

お問い合わせ：中山町議会事務局 ☎023-662-4370

施設等解体の早期実現を

厚生産業常任委員会報告（委員長：渡辺博文）

8月20日、厚生産業常任委員会が開催され、「町有財産の現状および未利用財産の今後の対応について」を議題として、①旧情報・物産館^{まる}〇っと、②旧長崎養豚団地の浄化槽等、③洲の上道路等用地の3件について調査を行い、担当課から説明を受けました。

旧長崎養豚団地の浄化槽については、所有する町の負担により、解体・撤去し、安全確保を図る予定とのことです。今後は中に溜まった水の水質調査を行い、その結果を踏まえて処分方法、解体方法を検討していくと説明がありました。

3件の財産については、継続して調査することになりました。



まずは浄化槽の水質検査を予定（旧長崎養豚団地）

見守り続けていく お達磨の桜

総務文教常任委員会報告（委員長：鈴木徹雄）

8月20日、総務文教常任委員会を開催しました。継続調査となっていた町が所有する建物や土地の現状および未利用財産の今後の活用について、担当課より説明を受けました。

旧中原団地跡地については、売却済みとなりました。旧ひまわり館については、期限内に入札がなく、今後は先着順による売却を進めていくということです。旧柏倉家住宅駐車場用地については、残土の搬入が終わり、数年は沈み込みの確認が必要となります。

そのほかの建物や土地については公共施設再配置計画等と併せて考える必要があるとの説明がありました。

8月26日、お達磨の桜樹勢回復事業について現地調査を実施しました。教育課と樹木医からは、昨年度に引き続き定期的な見回りと枯枝処理、土の入れ替えによる土壌改良により樹勢回

復を目指していくことが説明されました。また達磨寺・向新田協議会会長、公園維持管理組合会長等との意見交換も行いました。

樹勢回復事業は長期的な事業となることから、今後も引き続き適切な管理をしていくことを確認しました。



樹木医による2週間に1度の定期的な見回り活動

国の制度、積極的に活用しよう

総務文教・厚生産業常任委員会 合同研修報告

8月4日・5日、総務文教・厚生産業両常任委員会の合同研修が、東京都衆議院第一議員会館の会議室において開催されました。

このたびの研修は、例年の視察研修ではなく、国事業の内容について省庁の担当者から直接説明を受けるといった形で行われました。

●内容①「新しい地域経済・生活環境創生交付金について」（内閣府）

【基本的な考え方】

地方がそれぞれの特性に応じた発展を遂げることができるよう地方公共団体の自主性と創意工夫に基づいた、地方創生に資する地域の独自の取り組みを応援するものです。

- ・地方公共団体に限り申請可能
- ・地方版総合戦略を策定することが必要
- ・事業ごとに具体的な重要業績評価指標（KPI）の設定やPDCAサイクルの整備が必要

【第2世代交付金】

令和6年度補正予算から新たに創設されたこの資金では、「ソフト事業」「拠点整備事業」「インフラ事業」の3事業があり、それぞれを組み合わせることで、より強力な整備が図られることを目的としています。既存事業の財源を振り

替えるだけの申請は対象になりませんが、地方創生に資する新たな取り組みを加え、創意工夫を訴求する内容であれば、交付の可能性があるとのことです。（例えば既存の温泉施設＋地域の賑わい創出・子ども向け施設など）

●内容②「疲弊した地方産業の対策について」（経済産業省・中小企業庁）

少子高齢化の進展、産業構造の変化や消費動向の変化などに伴い、特に地方において地域で生活を支える産業の維持が難しくなっています。その中で、地域で安心して働き暮らせる生活環境を創出するためには、若者にも魅力のある地方での仕事づくりとともに、地域でのコミュニティ形成の維持が重要です。このような考え方にに基づき、中心市街地や商店街等の活性化施策について、講義をいただきました。

いずれの研修も、制度設計や担当者から生の声を聞くことができ充実した時間でした。

どちらの制度も、難解でハードルは高そうですが、「本気で取り組みれば道は開ける」。要はアイデアと本気度であると思います。大変有意義な研修となりました。

公開事業に約380万円、入館者は2,246名

柏倉家住宅保存・利活用特別委員会報告（委員長：多田慎二）

9月4日、柏倉家住宅保存・利活用特別委員会が開催されました。

令和6年度の柏倉家住宅関連事業の歳出については、施設管理事業が約1020万円、修繕事業が約200万円、公開事業が約380万円となり、入館者数は2,246名だったことが報告されました。

また、令和7年度の関連事業の実施状況の報告として、修繕工事の進捗のほか、秋・冬の公開事業についての説明が行われました。



令和6年度冬の特別公開は3日間で107名が来場

なかやま議会だより・・・リニューアルします

議会広報常任委員会報告（委員長：村山 隆）

●山形県町村議会広報研修会

7月15日、山形県町村議会広報研修会が、山形市の山形国際交流プラザ（ビッグウイング）において開催されました。『議会の「見える化」と住民との「信頼」築く議会広報の基本と編集』と題した議会広報サポーター芳野政明氏の講演の後、「議会広報クリニック」が行われました。「なかやま議会だより」については、定例会の報告は的確に伝えている、見出しの立て方や目立たせ方も良くなってきているという評価をいただきました。今後、住民の意見や要望、提案を受けるなどの常設企画に期待しているとのアドバイスを受けました。

●全国町村議会広報研修会

8月28日、全国町村議会広報研修会が東京都の渋谷公会堂において開催されました。当町か

らは、議会広報常任委員5名と事務局1名の6名が参加しました。

今回のテーマは「①インタビュー記事を生かした紙面づくり」「②スマートフォンを活用した撮影技術の基本と実践」「③広報紙を通じて住民の政治参加をうながす」の3つで、それぞれの講師の熱弁を受け、充実した研修となりました。



研修資料より「写真撮影のコツ！」

それぞれの研修で学んだことを今後の紙面づくりに生かしていきます。

発火事故多発！リチウムイオン電池か？

山形広域環境事務組合議会報告

7月29日、山形広域環境事務組合議会定例会が開催され、令和6年度の決算について認定されました。

歳入総額 34億1948万8139円
歳出総額 33億8297万4532円

差引残額 3651万3607円
(→次年度へ繰り越し)

令和6年度の中山町の負担額は9384万5000円で、対前年比201万1000円の減となりました。

そのほか、条例の改正1件（山形広域環境事務組合議会個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例について）を可決しました。

トピックス 令和6年度火災等発生件数305件

8月13日、エネルギー回収施設（立谷川）の受入ごみピット内において火災が発生し、放水銃による消火を試みたが鎮火せず、消防本部による消火活動が行われた。発火の危険性のあるごみ、または立谷川リサイクルセンターからの破砕処理残渣が原因と

考えられるが、特定はされなかった。近年リサイクルセンターでは、リチウムイオン電池からの発火、発煙事案が急増しており、その対策が急がれている。



内蔵されている電池が取り外せないものは、水銀含有ごみとして出してください

議会活性化に向け、今後のスケジュールを確認

議会活性化特別委員会報告（委員長：須貝勝司）

9月12日、議会活性化特別委員会が開催され、第1・第2小委員会でこれまで議論してきた項目について協議を行いました。協議内容と結果は次のとおりです。

第1小委員会

①議員報酬の見直し

町民アンケート、議員アンケートの結果を踏まえ、増額の方向性を確認し、令和7年度中に町への要望書提出に向けて協議を進めていく。

②子ども向け議会のしおり

現在、大人向け議会のしおりに基に素案を作成しており、令和7年度中の完成に向け進めていく。

③オンライン会議・文書等のデジタル化等の例規整備

標準規則等を参考に素案を作成しており、令和7年度中の整備に向け協議を進めていく。

第2小委員会

①議員定数の見直し

令和7年度中に増減または現状維持の方向性を決定するため、協議を進めていく。

もし、増減することになった場合には令和8年度中の条例改正に向け協議する。

②傍聴規則の見直し

標準規則等を参考に素案を作成しており、令和7年度中の見直しに向け協議を進めていく。

③議会と議員のコンプライアンスの推進

令和7年度中に政治倫理要綱の内容について検証を進めていく。

議会活性化活動レポート



山形県町村議会議長会 武田参与を迎え、議会ハラスメント対策研修会を実施。
(7月8日)



「ピースデザイン工房」の高橋圭哉氏を迎え、タブレットの会議システム操作について研修を実施。
(8月6日)



観光人力車(左)と能舞台形式のギリシャ古典劇(右)

交流で「中山町」をPR!!

No.26

「まち・ひとインタビュー」では、中山町が大好きで、町内外で活躍する元気な「ひと」にインタビュー。

第26回は、劇団BQ創庫を主宰する川井浩雄さんです。

まち・ひとインタビュー

中山町の思い出は？

川井さん 仕事で、左沢線沿線2市6町の観光キャンペーンをすることがありました。その時、中山町がとても人気で、柏倉九左衛門家に多くの見学者をお連れした思い出があります。

いろいろな活動(交流)していますね。

川井さん 劇団を旗揚げしました。一方で、ほかの人とは違う、いわゆる「反骨精神」あふれる性格でもあったので、社会人になってもずいぶん苦労しました。反面「目立つ」ことで多くの方から興味を持っていただき、

「お宝」を紹介してください。

川井さん 劇団を主宰していたことで、舞台装置や、大道具・小道具がいっぱいあります。

「ガラクタ」ばかりですがね、(いやいや)自慢は映画『ローマの休日』に登場したバスパ(スクーター)やロンドンにあった「公衆電話ボックス」、今でも現役

中山町に移住したきっかけは？

川井さん 前に住んでいた山形市内の家が、お宝であふれていて、これを収容するための小屋・倉庫を探していました。運よく柳沢地区のいい物件を紹介していただき、住宅まるごと取得し、移住することになりました。

中山町の魅力は何ですか？

川井さん 最上川河川敷でキャンプをしたり、ごみ拾いの活動をしたりしています。そこで、さま

プロフィール



かわい ひろあき
川井浩雄さん(66歳)

劇団BQ創庫主宰者
山形市生まれ

21歳で「劇団BQ創庫」を旗揚げ、現在に至る。
8年前から中山町柳沢地区に移住する。

劇団BQ創庫とは…川井さんが主宰する劇団。代表作「星の王子さま」は、東京、北九州など、県内外で上演し、1994年にラジオドラマでギャラクシー賞を受賞した。

さまざまな人と出会うことで、交流の輪が広がっていきのかなと思います。もともと中山町長崎は、古くから交通の要であり、最上川舟運文化に端を発した「芋煮会発祥の地」や柏倉九左衛門家、日本最古の鉄橋から見る月山など、文化遺産に恵まれています。それらを目立たせ、生かすこと、そして交流することで、町をPRしていくことが大事だと思います。私もその一助になれば幸いです。

広報モニターの声



「議会だより」を町民の皆さまに興味を持って読んでもらえる内容にするため、感想・意見をいただいている「広報モニター」の声をご紹介します。
「広報モニター」は随時募集中です。ご興味のある方はお問い合わせください。

第34号から



- 表紙写真について真剣な表情が印象に残ります。笑顔にこだわらない表紙もおもしろい。
- 一般質問ページのタイトルと議員写真をもう少し小さくし、質疑の内容を多く掲載してはどうでしょうか。
- 議会活動報告は、大変重要な項目と考えます。参加議員の研修結果と考察を色分けや太文字で表示してもらえば、研修内容がより理解できると思います。
- 「楽しい仲間たち」では、町内の伝統行事について理解が深まる良い内容だと思います。

今回もたくさんの声をお寄せいただきありがとうございました。ご指摘のあった件については、検討させていただきます。

ご意見、要望等ありましたら、電話やFAX、二次元コードからお気軽にお寄せください。

連絡先

TEL : 023-662-4370
FAX : 023-662-2538

ご意見投稿はこちらから▶



2市2町

山形市・上山市・山辺町・中山町

イベント情報

①とき ②ところ ③内容 ④問い合わせ

※イベントは予告なく変更になる場合があります。

第40回上山城まつり2025



- ①令和7年11月2日(日)・3日(月・祝)
- ③ステージイベントやマルシェを開催します。
- ④上山城郷土資料館 Tel.023-673-3660

やまのべ・まるごと・フェスティバル



- ①令和7年11月3日(月・祝)
- ②山辺町民総合体育館およびその周辺
- ③山辺町の特産品販売や友好都市日立市からの特別出店、ステージイベントなど内容が盛りだくさんです。
- ④やまのべ・まるごと・フェスティバル実行委員会事務局(山辺町商工会内) Tel.023-664-5939

蔵王樹氷まつり



- ①令和7年12月下旬～令和8年2月下旬
- ②蔵王温泉スキー場内
- ③樹氷のライトアップ等
- ④(一社)山形市観光協会 Tel.023-647-2266

上山城元旦登城



- ①令和8年1月1日(木・祝)
- ④上山城郷土資料館 Tel.023-673-3660



山形市初市



- ①令和8年1月10日(土)
- ②山形市十日町～七日町 国道112号
- ③縁起物をはじめとした木工品や野菜の販売、一般露店やキッチンカーが立ち並びます。
- ④山形商工会議所 Tel.023-622-4666
山形市観光戦略課 Tel.023-641-1212(内線424)

山辺町初市



- ①令和8年1月12日(月・祝)
- ②山辺町駅前・本町・仲町通り
- ③縁起物のだんご木等の販売や、山辺町の特産品舞米豚をたっぷり使った豚汁の振る舞い等が行われます。
- ④山辺町初市運営協議会(山辺町商工会内) Tel.023-664-5939

中山町初市



- ①令和8年1月14日(水) 10:30～
- ②ひまわり温泉ゆ・ら・ら前
- ③商売繁盛を願い江戸時代から続く伝統行事「初市」
- ④中山町観光協会事務局 Tel.023-662-2114

今号の表紙：ごはん おいしい、「おかわり」

9月1日から、なかやま保育園とながさき幼稚園で米飯の無償提供が開始されました。これまでの副食(おかず)の無償化に加えて米飯(ごはん)も加わり、給食の完全無償化が実現しました。これは中山町独自の子育て支援策です。

それぞれの園の給食時間に何うと、美味しそうに温かいごはんを食べる子どもたちがいました。「おかわり」の元気な声に「おかずも食べてね」と先生が話す、明るい会話が部屋中に広がっていました。



ぜんぶ食べたよ

スポーツとフルーツ 伸びゆく町 なかやま

楽しい仲間たち

明るい 豊かなまちづくりを目指して

No.9

連載シリーズ「楽しい仲間たち」は、町内で活躍・活動しているさまざまなサークル、ボランティア団体を紹介しています。

高校生地域おこしサークル「あいらぶなかやま」

10月12日の芋煮会に向けて準備着々（9月13日取材）

「先輩たちが1年生の時に作られて、私たちが高校生になった時点で参加させてもらった」と話すのは、高校生地域おこしサークル「あいらぶなかやま」のメンバーです。小・中学生時代からの友人関係で結ばれた地域密着型のグループで、現在は高校2年生と1年生が中心となって活動しています。

印象深い活動について尋ねると、羽前長崎駅西口でのイルミネーション設置を挙げ、「撤収作業の時に『君たちがやってくれてたんだ。ありがとう』って直接声をかけてもらえて」と、地域住民との温かい交流を振り返っていました。

10月12日の芋煮会に運営側として参加する理由については、「昨年のアンケート結果を見たら、町外から来てる人が多くて、中山町の魅力を知って来てくれているんだなということがわかって、運営側として何かやりたいなって思いました」と熱く語ります。

昨年は『カプセルに割引券を入れたガチャガチャを用意して、答えてもらった人にそれを引いてもらう』というユニークな仕掛けでアンケート収集を担当。今年は「中高生とか若い人たちが来てくれるようなイベントを企画したい」との思いで、『お菓子のつかみ取り』『駅から会場までのスタンプラリー』『フォトスポッ

ト』などのアイデアを練っているそうです。

「勉強に追われている時も、活動で地元の友達と会えるのが支えになる。高校の友達とはまた違う、ちっちゃい頃からの縁」「親戚みたいな?!」と微笑み合いながら活動の意義を語ってくれました。若い感性で、芋煮会を盛り上げようとするメンバーの活躍が期待されます。



▲イルミネーション活動



▲羽前長崎駅東口の飾りつけ



◀取材日に集まっていたメンバー（左から）
さとうりん 佐藤凛さん、
ふくもと 福元夏歩さん、
たけぐさ ののか 武口奈音花さん

代表者：ながおか ゆい 長岡柚衣さん
会員数：10名
活動日：随時
活動場所：中央公民館ほか

Instagram



なかやま 議会だより
No.35

発行日：令和7年11月1日
発行：中山町議会
発行責任者：議長 鎌上 徹

〒990-0492 山形県東村山郡中山町大字長崎120番地
TEL:023-662-4370 FAX:023-662-2538
E-mail:gikai@town.nakayama.yamagata.jp

印刷：大場印刷株式会社

議会広報常任委員会
委員長 伊藤 慎二
副委員長 渡邊 史
委員 田村 波山
委員 佐田 昌幸
委員 幸治 隆史

平成29年5月、町民の皆さまに議会活動を知っていただけるように「なかやま議会だより」第1号を発行し、8年が経ちました。

当時は親しみを持ってもらうために、「楽天カラー」を表紙と全体のカラーとして採用し、これまで少しずつ内容を改良してきました。

今回、表紙デザインを一新し、より親しみやすい紙面を目指していきます。

引き続き町議会活動をわかりやすく掲載してまいりますので、ご愛読をよろしくお願いいたします。
(田宮昌幸)

編集後記